

前向きに挑戦する福井の企業を応援します

F-FACT

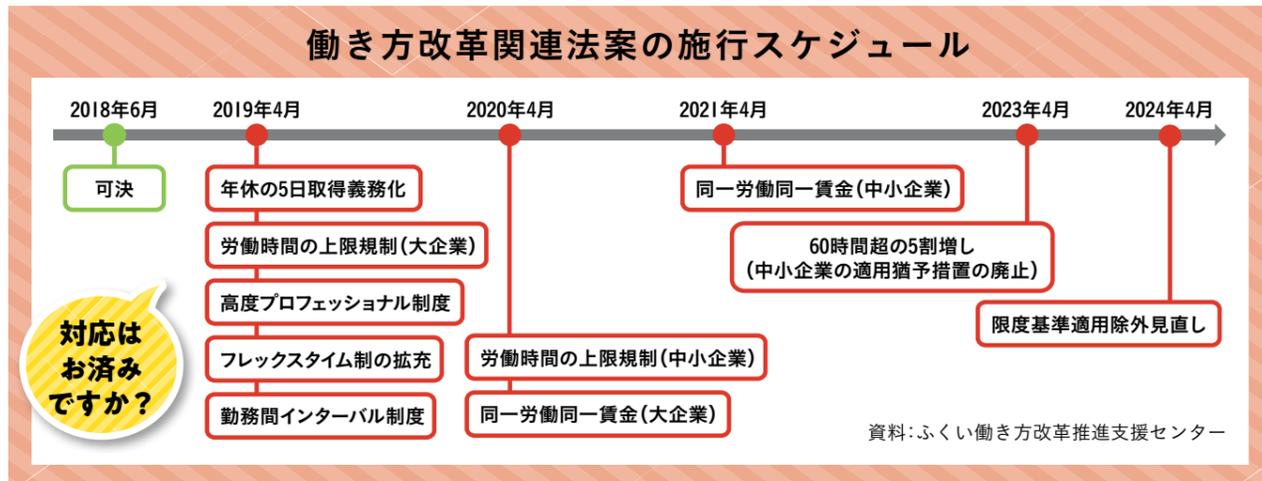
ファクト > Fukui advanced companies' try

【特集】 働き方改革と向き合う
～職場独自の働き方改革に向けて～



Vol. 37

働き方改革関連法が施行されます！



特集 働き方改革と向き合う

～職場独自の働き方改革に向けて～

「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」、いわゆる「働き方改革関連法」が2019年4月から随時施行されています。それに伴い、職場における働き方の見直し、「働き方改革」に注目が集まっています。しかし、実際に職場で何をしたら良いのか、何を見直すべきなのか、悩みを持っている方も多いのではないのでしょうか？

今回の特集では、働き方改革の基本的な考え方や専門家によるアドバイス、働き方改革に積極的に取り組んでいる企業を紹介しますので、職場の働き方改革の参考としてください。

「働き方改革」に関する支援制度・支援機関

助成金

- **時間外労働等改善助成金**
時間外労働の上限設定等に取り組む中小企業事業主に對して、その実施に要した費用の一部を助成するものです。
- **業務改善助成金**
中小企業・小規模事業者の生産性向上を支援し、事業場内で最も低い賃金（事業場内最低賃金）の引上げを図るための制度です。生産性向上のための設備投資（機械設備、POSシステム等の導入）などを行い、事業場内最低賃金を一定額以上引き上げた場合、その設備投資などにかかった費用の一部を助成します。
- **キャリアアップ助成金**
有期契約労働者、短時間労働者、派遣労働者といった、いわゆる非正規雇用労働者の企業内でのキャリアアップを促進するため、正社員化、処遇改善の取組を実施した事業主に対して助成する制度です。

支援機関

- **働き方改革推進支援センター**（各都道府県に1か所ずつ設置）
労働時間管理のノウハウや賃金制度等の見直しなど、労務管理に関する課題について、社会保険労務士等の専門家が相談に応じます。様々な関係機関と連携し、出張相談会やセミナー等を実施します。
- **ハローワーク**
働き方改革に取り組む企業の求職者への周知、求人充足に向けたコンサルティング、事業所見学会や就職面接会などを実施しています。
- **よろず支援拠点**
生産性向上や人手不足への対応など、経営上のあらゆる課題について、専門家が相談に応じ、経営課題に応じた適切な支援機関を紹介できます。

中小企業・小規模事業者において、特に取り組むべき内容は、以下の二つです。

2019年4月から施行されたもの

- **年次有給休暇の年5日取得義務化**
年次有給休暇は、働く方の心身のリフレッシュを図るためのものですが、取得率が低いのが現状です。労働者が気兼ねなく請求できることが課題となっています。大企業・中小企業に関わらず、対応が義務付けられています。

対象者：年次有給休暇が10日以上付与される労働者（パート、管理監督者も含む）

- **付与した日(基準日)から1年以内に5日**、使用者が時季指定する必要があります。（労働者が自ら取得した場合や計画的付与で取得した場合は5日から控除できます。）
- **年次有給休暇の管理簿**を作成し、3年間保存する必要があります。

2020年4月以降に施行されるもの

- **時間外労働の上限規制（中小企業・小規模事業者）**
長時間労働を是正することにより、ワークライフバランスが改善し、誰もが働きやすい職場環境をつくることができます。中小企業・小規模事業者は2020年4月1日から適用されます。
- 時間外労働の上限は、原則として月45時間、年間360時間となります。
- 臨時的な特別な事情があっても（特別条項）、年間720時間が上限となります。また、時間外労働と休日労働の合計が月100時間未満、複数月平均で80時間以内でなければなりません。
- 36協定の様式が変わります。
※時間外労働、休日労働は必要最低限にとどめるように努めましょう！

「働き方改革」とは？
我が国は、「少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少」「育児や介護との両立など、働く方のニーズの多様化」などの状況に直面しています。こうした中、投資やイノベーションによる生産性向上とともに、就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる環境を作ることが重要な課題になっています。

「働き方改革」は、この課題の解決のため、働く方の置かれた個々の事情にに応じ、多様な働き方を選択できる社会を実現し、働く方一人ひとりがより良い将来の展望を持てるようにすることを目指しています。

このためには、就業機会の拡大や意欲・能力を存分に発揮できる環境を作り、労働者が置かれた個々の状況に応じ、多様な働き方を選択できる社会を実現させる必要があります。そこで重要となるのが、日本の雇用を7割も占めている中小企業・小規模事業者にお

働き方改革を行うにあたっては以下の対応が必須です

- ☑ 時間外労働を行うには、サブロク(36) 協定が必要です。
- ☑ 労働契約を締結する際には、労働者に対して労働条件を書面等で交付する必要があります。
- ☑ 労働者10名以上の場合は、就業規則の作成、届出が必要です。
- ☑ 賃金台帳、労働者名簿などを作成する必要があります。
- ☑ 非正規雇用労働者を雇用している場合は、正社員と比べて不合理な待遇差がないようにすることが必要です。

ける働き方改革です。「働きやすい職場」、「魅力ある職場」を実現することで、人手不足の解消にも繋がります。「魅力のある職場づくり」↓「人材の確保」↓「業績の向上」↓「利益増」という好循環を作りだすこともできます。

Contents

- 1 働き方改革と向き合う～職場独自の働き方改革に向けて～
- 3 【専門家インタビュー】働き方改革推進支援センター
- 5 【企業事例①】㈲三田村興業
- 7 【企業事例②】㈱永和システムマネジメント
- 8 【企業事例③】富士経編㈱
- 9 ふくい産業支援センターの支援をご紹介します
- 11 今月の注目企業 鯖江精機㈱
- 13 Start a New Project
● ジャートム㈱
● GARAN ASSOCIATES
- 14 こんにちは。FOIPです。
- 15 グッドデザインシンキング
- 16 総合相談
- 17 「IT」教えて先生！
- 18 新スポット巡礼
- 19 インフォメーション他



(上)好事例セミナー風景。(下)働き方改革セミナー風景。

働き方改革推進支援センター

「私たちにお手伝いさせてください」

ふくい働き方改革推進支援センターの坪川貞子氏、和田千賀子氏に、「働き方改革」に対して企業がどう向き合っていかなければならないのか、専門家の観点から、お話を伺いました。

ふくい働き方改革推進支援センターについて



和田千賀子氏 坪川貞子氏

働き方改革推進支援センターは、労働局からの委託を受けて、関係機関との連携の下で、労務管理の専門家による電話・メール・窓口相談・セミナー開催等を実施しています。センターは各都道府県に必ず1か所設置され、福井県では「社会保険労務士法人坪川事務所」が業務を受託しています。坪川事務所は労働相談を中心に業務を展開し、現在、社会保険労務士、行政書士、中小企業診断士によって、全国6か所で幅広い企業支援を行っているエキスパート集団です。センターは、福井市西木田にある福井商工会

議所ビルの1階にあり、福井県人材確保支援センターが隣接しています。働き方改革推進支援センターと人材確保支援センターが隣接しているのは、全国でも福井県のみであり、働き方改革と人材確保の相談がワンストップでできる環境が整えられています。

ふくい働き方改革推進支援センターの業務内容

各センターに配置している、社会保険労務士などの専門家が、無料で事業主の労務管理・企業経営等の相談内容に応じた就業規則の作成方法、賃金規定の見直しや労働関係助成金の活用などを含めたアドバイスを行います。

【個別相談支援】

- 窓口相談、電話、メールなどの一般的な相談の受付
- 企業へ直接訪問し、事業主の方が抱える様々な課題に

【労務管理セミナー】

- 働き方改革関連法、最低賃金制度や賃金引上げ支援策の周知、労務管理の手法、労働関係助成金の活用方法などに関する事業主向けのセミナーを開催します。

実際の相談事例

- 製造業
求人票を出しても応募がない。入社しても定着しないという相談。
- ↓ 休日数が少ない、不定休で

あることがネックになっているということから、現状の労働時間制度をヒアリングした結果、1年単位の変形労働時間制が最も適している旨を提案。繁忙期、閑散期に応じた休日数の設定や、閑散期に連続して休日を設定することができないかなどのアドバイスを

行った。

● サービス業

↓ 作業場のレイアウトを変えたいという相談があり、支援機関である「よろず支援拠点」のコーディネーターと訪問。1日の業務内容を事業者と一緒に細かく振り返り「無駄」を洗い出した。結果、事業所全体で5S（「整理」「整頓」「清掃」「しつけ」の頭文字のSをとったもの）が行き届いていないことがわかり、

引き続き、5Sの専門家による支援を行った。

簡単な働き方改革

「無駄」をなくす
例えば：↓ 「探す時間」を減らす。ラベルを貼ったり整理整頓したりして部品や商品資料を見える化し、少しでも「探す時間」を減らし、その時間を何かに充てる。「業務の見える化」

例えば：↓ 働き手が、1日の業務内容を一度細かく振り返り、自分が必ずしもやらなくていいものや他の働き手との連携や業務の委託で効率化を図れるものがないか探す。

センターからのアドバイス

- 働き方改革関連法の趣旨、原理原則を理解すること、何をすればよいのかが見えてきます。
- 経営者ひとりで考えるのではなく、チームを作ってみるなど考えることが効果的です。経営者と従業員が集まって話し合う機会を設けることをお勧めします。
- 経営者と従業員が、お互いに主張しあってはいけません。経営者と従業員がしっかりコミュニケーションを取ることが必要です。また、他の企業がやっていることを真似をすることはよくありません。
- 相談対応をする中で、営業時間を1時間縮めても売上は、それほど減らないという声をよく聞きます。メリハリをつけて仕事をすることが大切です。

センターから皆さまへ

日々の業務に追われ、働き方改革への対応を考える時間がない中であっても、働き方改革に向き合う時間をみんなで作ることが、働き方改革への大きな1歩になります。企業がすべきことは法律で定められていますので、働き方改革について、いつかは頭を悩ませなければなりません。一人で悩んでいる時間は

もったいない、そのために私たちが支援をさせていただきます。都市部では働き方改革が進んでいます、地方ではまだまだ進んでいません。全国隅々まで支援がいきわたるよう、各都道府県に1つずつ、センターが設置されています。相談の身は問いませんが、無料で相談等、まずは、センターを活用くださるよう、お願いいたします。

相談無料！予約不要！
時間内であれば
いつでもご利用ください！

【ハローワークでの出張相談会】
13:00～16:00(3時間)

各所	日程	場所
ハローワーク福井	週一回・毎週月曜日	庁舎2階事務室内
ハローワーク武生	月1回・第1金曜日	庁舎1階事務室内
ハローワーク大野	月1回・第2木曜日	庁舎1階事務室内
ハローワーク三国	月1回・第2水曜日	庁舎1階事務室内
ハローワーク敦賀	月1回・第2火曜日	庁舎1階事務室内
ハローワーク小浜	月1回・第2金曜日	庁舎1階事務室内





(上) 運転席から降りたくなくなるほど快適な空間になる重機も導入。
(下) 設備を購入したら記念撮影。設備投資は積極的に行っています。

「派遣切りに遭った人たちが、働くことに自信を失って面接に来ていた頃のことを思い出します。3Kと言われる業種だからこそ、およそリサイクル屋らしくない環境づくりを目指そうと考えました」

求人広告の訴求点など人材採用にもひと工夫

「派遣切りに遭った人たちが、働くことに自信を失って面接に来ていた頃のことを思い出します。3Kと言われる業種だからこそ、およそリサイクル屋らしくない環境づくりを目指そうと考えました」

「現場主義、そして会話を大切にすること。この2つに尽きますね。役員が汗を流して先頭に立ってやるという姿勢が大切なのは」と話します。

人材採用にも工夫を凝らします。現在は、職業訓練校へのアプローチやフリーペーパーなどを軸に採用活動を展開しており、冷暖房完備の作業環境、昇給制度、社内レクリエーションなど訴求ポイントに知恵を絞ります。「外国人と共通に働いたり、部品輸出の業務に関わったりすることで『国際感覚が養える』というよう

なアピールもしますね」。人材募集の掲出時期も、年末年始を避けるなどひと工夫しているとのこと。

取材中、何度か「人が会社をつくる」と繰り返した三田村氏。「会社のルールはシンプルの方がいい。がんばったら給与や賞与できちんと報われる。しかるべき理由があれば、作業場のエアコンのように自分たちの要望が通る。そういったことが、仕事へのモチベーションにつながると思うんです」と力を込めました。

CASE 1

社員の健康を第一にする経営で、定着率向上

有限会社三田村興業

働き方改革に取り組む企業の一つとして、自動車リサイクルなどの事業を展開する三田村興業を紹介します。「3K」のイメージを払拭すべく、就業環境改善の設備投資に積極的な同社。つい先日永年勤続表彰者が出るなど、さまざまな取り組みが定着率の向上につながっています。その背景について、常務取締役の三田村明宣氏に伺いました。



常務取締役 三田村明宣氏

有限会社三田村興業

所在地: 本社/福井市下荒井町19-5
 鯖江工場/鯖江市鳥羽町4-5-1
 代表者: 三田村育重氏
 事業内容: 自動車リサイクル業
 TEL 0776-38-2268(本社)、0778-54-0279(鯖江工場)

リーマンショックを機に就業環境の方針大転換

同社は1968年、福井市下荒井町で創業。解体重機や大型プレス機などを積極導入するなどいち早く新たな取り組みを行い、現在は二次電池を搭載したHV（ハイブリッド車）やEV（電気自動車）などのリサイクルを強みの一つとしています。

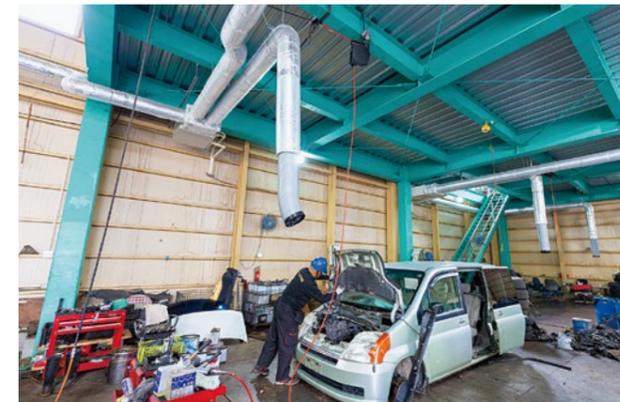
とはいえ、三田村氏は「決して順調な歩みではなかった」と振り返ります。自動車リサイクル法の完全施行など業界環境が変わったのを背景に外国人研修生を多数採用したものの、生活習慣の違いなどから定着率は低調に。その後、リーマンショックによる雇止めなどの社会問題がクローズアップされ、「人を大切にす経営」を掲げ地元人材の積極雇用を軸を移しました。

「派遣切りに遭った人たちが、働くことに自信を失って面接に来ていた頃のことを思い出します。3Kと言われる業種だからこそ、およそリサイクル屋らしくない環境づくりを目指そうと考えました」

作業場の空調導入など快適性向上に注力

自動車リサイクル業の作業場というとオイルの染みこんだコンクリート床を想像しそうですが、同社の作業場は普通の革靴で歩いても支障がないほど。昨年には、酷暑の中で働く社員の要望に応えようと従来の扇風機に代わるエアコンを作業場に導入しました。解体専用機やフオークリフトもエアコン装備のキャビン付きタイプを順次導入し、作業環境の快適性向上に務めています。

作業環境改善について、三田村氏は別の取り組みについても説明します。「自動車のパーツには重い物も多いですが、10キロ以上の物は複数人で持ち運ぶよう徹底しています。身体に負担をかけるような動き方は瞬間的にはクリアできても、蓄積していくと足腰などの故障につながるからです」。夏場には始業・終業時刻を1時間ずつ早めて16時30分終業とするなど、社員の



去年導入したクーラー。かなり涼しいです。

身体を第一に考える経営陣の気遣いがあることに見られます。

経営陣や管理職などが率先して、就業時間と休憩時間のメリハリを付けることが大切ではという提言も。「休憩というのは従業員の特権で、休憩時間間に仕事を押しつけてるなんてのはもってのほかだと思えます。当社なんて、終業時刻になったら20分後には社員が誰もいなくなるくらいですよ(笑)。でも、会社のルールはそれくらい明確で分かりやすい方がいいのでは

CASE 3 わが社だからこそ出来る 働き方改革

富士経編株式会社

鯖江市において100%受注生産、生地から縫製まで一貫した製作工程で衣服製造を手掛けている富士経編株式会社。国内で生産する以上、日本人の物づくりを極め、人財を大切にしたいという社長の想いから働き方改革を始め、この度福井労働局のHPに「働き方改革に取り組んでいる事例」として掲載されました。同社が働き方改革にどのように取り組んでいるかを、代表取締役社長の平木弘史氏に伺いました。



代表取締役社長 平木弘史氏



富士経編株式会社
https://www.fujitateami.co.jp/

所在地:鯖江市上河端町5-1-6
代表者:平木 弘史氏
事業内容:経編ニット製造・販売等
TEL 0778-51-1310



ちよこ案制度

これがわが社です。
富士経編株式会社は、1959年創業の経編製造メーカーで、ニット製品を生地開発から縫製販売まで行う開発提案型の総合メーカーとして唯一無二の商品作りを目指しています。病院白衣のニット生地としては原糸メーカーを通じ、国内シェアNo.1を誇り、また、ホテルのルームウェアその他資材用生地を自社ブランドで販売しています。技術・設備の投資は創業当時より変わらず積極的に、最新鋭設備を導入し、小ロット短納期や品質に対応しながらお客様のニーズにあわせてサンプル作りからの企画提案を第一に実践している会社ですと平木氏は語ります。

「企業の基盤は人財の熱い思いにあり」
弊社は社是の1つとして社員が働きやすいような環境を作ることを挙げています。創業当時、「自分の会社の身の丈を見極め、それに合った規模の事業をすること」を受け継いできました。単に量を追いかけて事業拡大するのではなく、設備投資や社員育成を基盤として、他にはない付加価値追求の物づくりを創業当時から継続してきた経営理念を語ります。
会社が成長するには、人財である社員一人一人が働きやすい環境を作ることが基盤になると考えています。私にとつて働きやすい環境とは、
①社員が主体性を持ち、②正しく評価され、③働くモチベーションがしっかりとある環境だと考えています。弊社では月に1回社員一人一人と個人面談をします。社員に主体性を持たせるため、個人目標を掲げさせ、進捗を聞いていくまじめな話から始まりますが、中身は雑談がほとんどです。社員の想いを会社が知り、相互に理解を深める事が、自主的に行動することに繋がります。

幅広く社員が集まり、働き方や職場環境に関して挙がった問題点や不満点を解決するため議論、その結果を経営陣に投げかけるもので、このプロジェクトを3年間行いました。その結果、制度が用意されていても使いつらいなど、必ずしも社員にとっては満足度の高いものではないことがわかりましたので、そこも可能な範囲で見直しをかけました。例えば、個人の事情に合わせて午前7時から11時の間で出社できるよう、時差出勤制度の時間枠を拡大する、半休を1日の内の希望する時間帯で自由に取得できるようにする、育児・介護のための時短勤務について、その利用期間(回数)を無制限にする、3日以上連続休暇取得を全社的に推進する、といった取り組みです。そして、経営陣が積極的に後押しし、実践しやすい雰囲気を作ったことで、休みが取りづらかった部署でも休みを取るようになったほか、男性の育児取得も増えるなど、目に見えて成果が出てきていますので、今後も更なる働き方改革に取り組んでいきたい、と抱負を語ってくれました。

CASE 2 「働きやすい会社」 そして「働き続けたい会社」へ

株式会社永和システムマネジメント

1980年に創業し、福井市において全国の顧客に向けシステム開発・販売を手掛けている株式会社永和システムマネジメント。2012年の東日本大震災を機に従業員のために業務改善を始め、この度福井労働局のHPに「働き方改革に取り組んでいる事例」として掲載されました。同社が働き方改革にどのように取り組んでいるかを、管理部長の浅田耕司氏に伺いました。



管理部長 浅田耕司氏



(上)お菓子コーナー:コンビニに行くにはちょっと不便という声があったので設置しました。
(下)オフィスBGM:これも「WoW↑3」で要望があり、各廊下に設置!誰でも好きな曲をリクエストできます。

株式会社永和システムマネジメント
https://www.esm.co.jp/

所在地:福井市問屋町3丁目11番地
代表者:平鍋 健児氏
事業内容:情報システム開発および構築等
TEL 0776-25-8488

これがわが社です。
永和システムマネジメントは、1980年に創業し、当初は金融機関の勘定系システム開発、医療機関の電子カルテといった医療システム開発を強みに事業を展開してまいりました。ただ、いろいろな分野で強みを発揮できるよう、Web系開発も手掛け、今では自動車の車載システム開発支援をはじめとする組込み系にまで幅広く事業を展開しています。
また、当初は開発期間が長期にわたるウォーターフォール型開発が主でしたが、近年では激しくなり続ける市場競争に対応すべく開発スタイルも変化させ、開発作業を細かく区切って反復し、市場投入までの期間を短縮するアジャイル型開発にも注力。働き方

に限らず、事業のやり方なども時代の流れに合わせて柔軟に対応させています、と浅田氏は語ります。
わが社の働き方改革の原点
2011年の東日本大震災を契機として、社員の安全や勤務時間の確保を目的に自宅の仕事ができないかと考え、「テレワーク」を試験的に導入したことがわが社の「働き方改革」のはじまりです。基本的にパソコンを使う仕事なので、テレワークを導入しやすかったのも事実なので、導入後もクラウドサービスを活用することや社外からの通信環境を整備するなど改善を図り、今では社外からの出勤処理や会社サーバーへのアクセスが可能になりました。
実はその当時は働き方改革という意識はあまりなく、ただ社員が働きやすくなるようにしたかっただけなのです、と当時を振り返ります。

プロジェクト「WoW↑3(ワウアップスリー)」
2014年に策定した中期経営計画の中で、「WoW↑3」というプロジェクトを設けました。若手も含め各部署から

働き方改革セミナー & 出張相談会

自社の働き方を見直し、生産性を向上させるヒント！があります。講演当日は出張相談会（無料）を開催します。相談会のみ参加も可能です。詳しくは、ホームページをご覧ください。

<https://www.tsubokawa.jp/commissioned/fukui/index>

テーマ/ **同一労働同一賃金**
～働き方改革の推進をめざして～

- 内容 ● 2020年4月1日改正
「パートタイム・有期雇用労働法」
- 同一労働同一賃金の制度概要
 - 同一労働同一賃金の取り組みの進め方
 - 均衡・均等待遇のポイント
 - 待遇の比較に関する注意点

出張相談会 同時開催!
各会場 15:30～17:00

参加無料
定員30名



参加無料 **働き方改革セミナー&出張相談会**
自社の働き方を見直し生産性を向上させるヒント！があります

定員 **30名**

《8月セミナー》
テーマ/ **同一労働同一賃金**
～働き方改革の推進をめざして～

内容：2020年4月1日改正「パートタイム・有期雇用労働法」
同一労働同一賃金の制度概要
同一労働同一賃金の取り組みの進め方
均衡・均等待遇のポイント
待遇の比較に関する注意点

セミナー開催時間/13:30～15:30

開催日・場所

- 8月26日(月) 福井商工会議所 2階D会議室
- 8月27日(火) 大野商工会議所 第2研修室
- 8月29日(木) 敦賀商工会議所 5階B会議室
- 8月30日(金) 武生商工会議所 3階A・B会議室

出張相談会 講演当日は出張相談会(無料)を開催します。
相談会のみ参加も可能です。
15:30～17:00

ふくい働き方改革推進支援センター
ふくいジョブステーション
厚生労働省委託事業 社会保険労務士法人 坪川事務所

開催日・場所	開催日	会場	時間
	8月26日(月)	福井商工会議所 2階D会議室	13:30～15:30
	8月27日(火)	大野商工会議所 第2研修室	13:30～15:30
	8月29日(木)	敦賀商工会議所 5階B会議室	13:30～15:30
	8月30日(金)	武生商工会議所 3階A・B会議室	13:30～15:30

問い合わせ先

ふくい働き方改革推進支援センター
(福井市西木田2丁目8-1 福井商工会議所ビル1階)
TEL 0120-14-4864 FAX 0776-33-2833

ふくい産業支援センターの支援をご紹介します

現場改善で働きやすい環境づくりを！ 福井ものづくり改善インストラクター派遣事業

生産現場の改善に意欲的に取り組む県内の中小企業・小規模事業者にもものづくり改善インストラクターを派遣し、「福井ものづくり改善インストラクター学校」^(※)で習得した手法等を用いて、生産効率、品質向上等の生産現場で抱えている課題に対し、インストラクターが中心となり経営者・現場の皆様の協力を得ながら改善提案を策定します。

付加価値を生まない現場のムダを取って生産性を向上させることは、現場作業員の働きやすい環境づくりにつながり、残業時間や休日出勤の減少といった効果も実際に見られています。事業の詳細は、ホームページをご覧ください。

<http://www.fisc.jp/fiib/monodukuri.html>

(※)東京大学ものづくり経営研究センターと共同開発した、講義・演習・現場実習からなる中小企業の現場改善のためのカリキュラム。



問い合わせ先 (公財)ふくい産業支援センター 人材育成部(中小企業産業大学校)
TEL 0776-41-3775 FAX 0776-41-3729

経営の専門家チームが働き方改革を【無料】でアドバイス!

経営全般にわたる様々な課題に対して、幅広い分野の専門コーディネーターがチームで支援するのが「福井県よろず支援拠点」です。働き方改革の推進についても、求人募集の効果を上げる方法や社員のモチベーションアップなど人材の確保・育成、ITの活用や現場改善・作業改善等による生産性向上・業務効率化などについて、実践的な助言を行います。



アドバイス例

- ◆ 効果を上げる求人票の書き方指導
- ◆ コストを抑えた在庫管理システムの導入
- ◆ メーカーや問屋、小売店、飲食店など様々な業界の作業改善・業務効率化
- ◆ 働き方改革を促進するためのセミナーの開催 等々

《コーディネーターが事務所を訪問してご相談に応じます》



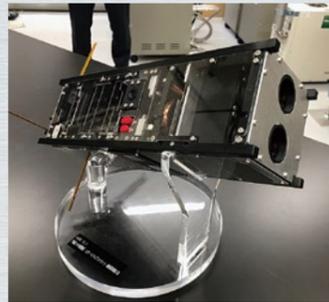
【相談受付TEL】
0776-67-7402まで
ご連絡ください。

※「総合相談窓口」でも無料で相談に対応します。詳しくは本誌16ページをご覧ください。



鯖江精機株式会社

丹生郡越前町気比庄22-8
代表取締役社長 浅井 滋氏
事業内容：合理化・省人化・自動機械の設計製作
TEL: 0778-34-8600
<https://www.sabaeseiki.jp/>



製造した3U衛星エンジニアモデル。



(上)さまざまな工作機械が並ぶ工場内。ミクロン単位の精度で、部品がつくられている。
(下)鯖江精機の技術が活かされた3U衛星筐体。

このほか、衛星の運用に関する技術についても積極的に実習に参加しました。これらの技術蓄積を経て今年6月、研究グループは水を推進剤とする世界初の超小型人工衛星の新

民衛星を通して、ものづくりの楽しさ、できあがったときの喜びを、若い人に知っていただきたい。宇宙産業に携わること、少しでも福井の学生がものづくりに興味を持っていただけたらうれしいですね」と笑顔で締めくくりました。

実際よりも厳しい条件が課せられるそうです。「我々にとつて宇宙という環境は未知のもの。そこまでやるのかと思いましたが、それをクリアしないとイケない。うまくいかないうところは設計し直したり、部品をつくり直したり、半位置のスペンでトライ&エラーを繰り返しました」。そうした試験を経て、いよいよ来年

の打ち上げに向けた製造が始まります。「壁はあると思いますが、弊社の機械は衛星に必要とされる何十倍もの精度でつくっているんで、あまり心配はしていません」。今年6月には福井市で航空宇宙の国際会議ISTSが開かれ、県民衛星プロジェクトの発表と参加企業各社の展示などが行われました。日本初となる自治体での試みはテレビや新聞など全国的にも取り上げられるようになり、「社内はかなり盛り上がりつついて、社員のモチベーションアップに繋がっています」と手応えを語ります。

グループによる人工衛星の研究・開発にも参加しました。開発研究に当たっては、弊社社内プロジェクトを6名体制で立上げ、ふくい宇宙産業創出研究会が工業技術センターで実施した人工衛星設計基礎論を受講。東京大学航空宇宙工学科中須賀教授より、衛星設計、軌道論、姿勢制御などの基礎について講義を受けました。

エンジンの、その実証衛星を発売。衛星の基礎部分の製造を4社が担当し、工業技術センターも性能試験で協力しました。さらに、東京大学は「3U衛星」の量産化を目指し、福井県で低コスト・高性能・大量生産に向けた研究・開発を進めています。そうしたなか、ルワンダ向けの衛星や宇宙空間から東京オリンピックを応援するガンダムとシャアザクを搭載した超小型衛星の話が舞い込むなど、宇宙産業での実績を積み重ねています。

世界初の開発にも参加
宇宙産業で実績を蓄積

県民衛星プロジェクトに先駆け、同社を含む組合の製造・開発グループに属する各社は、東京大学大学院の研究

今月の注目企業



取締役副社長 桐山 勉氏

高精度な技術を活かし
衛星部品を製造・加工

3年前にスタートした、福井県民衛星プロジェクト。地方発の革新的なビジネスモデルの創出を目的に、福井県や県内企業が来年の打ち上げを目指しています。研究・開発に携わる福井県民衛星技術研究組合には、衛星製造・開発グループとして同社を含む県内企業7社と衛星データ活用グループ4社が参加。工業技術センターの技術支援や、東京大学、JAXA（宇宙航空研究開発機構）などからの指導を得て、実用化を目指した研究・開発が進められてい

ます。「福井県の次の産業となりえる宇宙産業に参入し、弊社の技術が関わった県民衛星が宇宙に飛んでいくことは非常にロマンがある。また、リクルートの面からもイメージアップにもつながると考えました」と、プロジェクトに参加した思いを語る桐山副社長。

これまでのプロセスで「大変だったのは環境試験」と、桐山副社長は振り返ります。超小型人工衛星は、実験用のエンジニアリングモデルと宇宙に飛ばすフライトモデルを製造。エンジニアリングモデルを使い、工業技術センターで環境試験を行います。真空の宇宙空間で激しい温度差や紫外線、打ち上げ時の振動に耐えうるのか、試験では

「厳しい宇宙に耐えうる環境試験をクリアして

した。参加した各企業さんも自社の優れた技術を保有していますので、チームワークはスムーズでしたね」と語ります。

眼鏡の加工用機械やIT関連の部品製造機などを手がける、鯖江精機株式会社。1963年の創業以来、半世紀にわたって積み重ねてきた高精度なものづくり技術で、2020年に打ち上げが予定されている福井県民衛星プロジェクトに参加しています。人工衛星の製造に携わるきっかけと県民衛星にかけける思い、これからの宇宙事業への展望を、取締役副社長の桐山勉氏に伺いました。

福井県民衛星プロジェクトに、高い精度を誇る技術を活かす

鯖江精機株式会社



昭和40年代初め 眼鏡機械が並ぶ旧工場風景



昭和18年先代社長見習い時代 東京にて定盤での作業中 先代社長当時16歳

こんにちは!
FOIPです。

たて編の新たな可能性への挑戦

～機能性たて編を活用してノイズを吸収する「吸音パネル」を開発～

福井県工業技術センター
新産業創出研究部 宇宙技術研究グループ

「吸音パネル」とは

室内で音が反響することによる不快なノイズを低減させて、音の響きや聞こえを良くする効果があります。一般に、室内の壁などに取り付けるので、部屋のデザインにも利用できます。

使い方の例として、

- 室内で音楽を好みの響き具合で楽しみたい
- 寝室を静かで快適なスペースにしたい
- オフィス会議室で反響音を減らしたい
(テレビ会議で明瞭な声を聞き取りたいなど)
- パーソナルスペースでの音漏れを防ぎたい
(病院、図書館、談話室など)

といった、音環境を快適にしたい場合に効果的です。

一般的な繊維系の吸音材料では、高周波の音域での吸音性は良いものの、低周波の音域での吸音性を出すのは難しいとされています。そこで今回、3D特殊構造をもつ機能性たて編を活用して、低周波から幅広い吸音帯域をカバーできる室内静音化向け吸音パネルを開発しました。

複数の機能性たて編を効果的に組み合わせることにより、静かにさせたい音の帯域に合わせた吸音性を持たせることができるので、パネルを使用する部屋の音環境や、ユーザーの好みに合わせたパネルを選ぶことができます。

住宅を建築する時には想像できなかった気になるノイズ、反響や音の聞こえにくさといった問題を、施工後に解決することができ、さらに、好みの音環境にカスタマイズすることができます。

これからは、もっと「音を楽しむ」時代がやってきます!

「3Dタテアミ吸音パネル」の開発

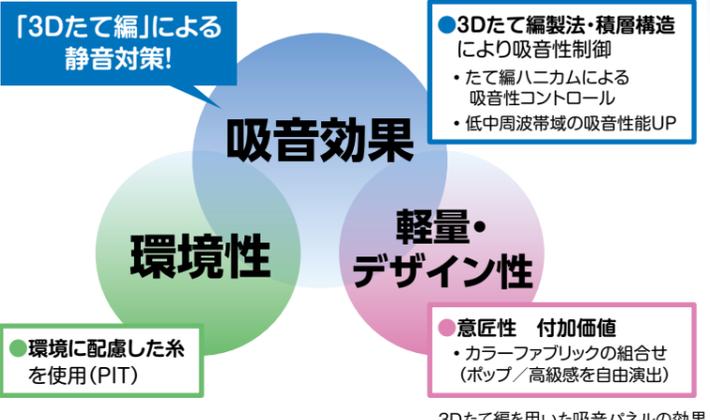
(福井経編興業株式会社、福井県工業技術センター) H28-29 地域資源活用共同研究事業

幅広い分野で多彩なたて編製造技術をもつ福井経編興業(株)と福井県工業技術センターが共同で、たて編の構造的特徴を生かし、立体製法を取り入れた3Dタテアミ吸音パネルを開発しました。壁掛けパネルとして、また、室内間仕切りなどパーティション用の両面タイプも製品化しました。福井県工業技術センターで吸音試験を行った結果、人の話し声、動作音など生活騒音に相当する1kHz周辺の低域での吸音性、さらに、3kHz程度までの幅広い帯域まで高い吸音性能を保てることが分かりました。



3Dタテアミ吸音パネル

3Dたて編吸音材は、軽量・多彩なカラーデザインといったたて編のメリットを生かしながら、室内の騒音ストレスを低減し、快適な音環境を作り出す様々な音響製品、産業資材に活用することができます!



創業者・若手経営者の挑戦

Start a New Project

(公財)ふくい産業支援センターでは『ふくい創業者育成プロジェクト』を通し、県内の創業者をさまざまな角度からサポートしています。ここでは、創業者や若手経営者の新しい視点を活かしたユニークな事業や立ち上げまでの道のりをご紹介します。

Instance 15 シャネルなど欧米ブランドでの経験を経て54歳で独立 福井と東京の懸け橋となり”情報活用の大切さ”を伝えたい

市場調査会社やシャネルなどをを経て独立

光成さんは福井市で生まれ育ち、大学進学を機に上京しました。

大学卒業後から10年間、日系・外資の市場調査会社に勤務して数々の依頼調査に従事し、その後20年間は、シャネルやリーバイスといった欧米ブランド企業側に移って、リサーチやカスタマーリレーションズのマネージャーやディレクターを歴任されました。

家庭の事情で福井・東京間の頻繁な往復が必要となったことから、2018年6月に独立してジャートム株式会社を設立。サプライヤー側とクライアント側の両方での経験に導かれた「タイムリーに役立つ正しいリサーチ」の追求実現を信条に、顧客の深層心理に迫る質問の組み立てを得意としつつ、リサーチの普及浸透を目指しています。

著書「エビデンス仕事術」を発売

創業後は、マーケットリサーチコンサルタントとしての活動を軸に、東京・日本橋にあるWASEDA NEOのコワーキングスペースに拠点を置いて、「実践で身に付くイ



ンタビュー&アンケート」と題した実践塾を開講するなど、精力的に活動する光成さん。

WASEDA NEOでの講義をきっかけとして、2019年6月末には、著書「エビデンス仕事術」(SBクリエイティブ)を発売されました。

福井でも情報収集と活用の大切さを伝えたい

「18歳で福井県を後にし、昨年54歳になりました。福井で過ごした倍の年月を東京で過ごしていたことに気づいたんです」とふり返る光成さん。「福井に恩返ししろ」という父の遺言を胸に、最初は会社の拠点を福井に移そうとも考えましたが、自分自身のキャリアを活かし、福井と東京を行ったり来たりしながら、人と人とを繋ぐことこそが自分の役割だと気づきましたと話します。

2019年春には福井でも実践塾を開講し、好評を得ている光成さん。「福井でも情報の収集と活用の大切さを伝えたい。」と力を込めます。



ジャートム株式会社
代表 光成 章さん
https://www.facebook.com/akira.mitsunari.3
所在地:千葉県松戸市五香6-31-6
TEL 080-5961-1674
E-mail akira.mitsunari@jartm.com

Instance 16 長い視点で成長に繋がるようなアドバイス 信頼ある仕事が評判となり、活躍の幅を広げる

人生をかけてやり遂げたいことを考えた先に創業があった

大学卒業後、東京でWebマーケティング全般のキャリアを積んできた吉田さん。Webデザイン・制作からディレクション、広告運用からWebサイトプロデュースまで幅広い業務に関わってきましたが、ある体験をきっかけに「人生をかけてやり遂げたいことはなんだろう」と考えた結果、「これまでの経験を地元福井で活かし、県内企業をITで元気にしたい」と決意。2015年に帰郷し創業されました。

「相談者自身で実践できるまで」を積極的に伴走支援

2017年7月からは、ふくい産業支援センターが運営する福井県産業情報センタービルのインキュベートルームに入居。支援センターのIT研修の講師を担当したり、ネット通販支援の担当者と無料で相談に応じたりと地元の企業との接点を増やすことで、「県内企業をITで元気にしたい」という目標に近づくべく日夜活動しています。



IT研修では受講生全員に後日に利用できる「1日無料アドバイス券」を配布し希望者には訪問して指導を行うなど、単に講義をして終わりというのではなく、あくまで「相談者自身で実践までを支援する」姿勢は多くの受講生から好評を得ています。

信頼ある仕事が評判となり、活躍の幅を広げる

このように目先ではなく長い視点で成長に繋がるようなアドバイスをすることを念頭に置いてクライアントと向き合うことをモットーとしている吉田さん。信頼ある仕事が評判となり、お寺の運営システム制作やショッピングセンターの通販サイト構築の依頼があるなど活躍の幅を広げています。「今後も地元の制作会社さんとの連携も深めていきたいです。」と語る吉田さんの目はまっすぐ未来を見つめています。



GARAN ASSOCIATES
(garanアソシエイツ) 代表 吉田 直哉さん
http://www.grna.jp/
所在地:坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16
福井県産業情報センター8階
TEL 090-2146-3865
E-mail naoya@grna.jp

『総合相談窓口』出張訪問相談サービス開始のお知らせ

相談無料

- 「日中に店舗を開けられない」
- 「相談に行きたいけど、行くのに時間がかかる」
- 「製造現場で、直接アドバイスをもりたい」
- 「商品の陳列やレイアウトに関するアドバイスをもりたい」

こうしたご意見を踏まえ、総合相談窓口では今年度より「出張訪問相談サービス」を開始。既に、多くの企業さまにご利用いただいております。

総合相談窓口では、業務に伴うさまざまなご相談（IT、マーケティング、技術・現場改善、各種補助金申請に向けたブラッシュアップ、事業計画書作成支援など）をお受けしています。

「日頃の経営の中で悩むことがあっても、どうすればよいのか。そもそも、どこに相談してよいかわからない」とお思いのみなさま。経営支援の専門家（中小企業診断士）から、課題解決に向けたアドバイスを無料で何度でも受けることのできる「総合相談窓口」をぜひご活用ください。



嶺北 総合相談コーディネーター

曜日	コーディネーター名	分野	保有資格
月曜日	北島 宏樹 (きたじま・ひろき) 佐々木孝美 (ささき・たかみ)	ITほか	中小企業診断士・ソフトウェア開発技術者
水曜日	津田 均 (つだ・ひとし) 松田 博史 (まつた・ひろし)	マーケティング・創業ほか	中小企業診断士・宅地建物取引主任者
金曜日	佐治 眞悟 (さじ・しんご) 高岡 勉 (たかおか・つとむ)	技術ほか	中小企業診断士・技術士

嶺南 総合相談コーディネーター

曜日	コーディネーター名	分野	保有資格
火曜日	前野 壽伸 (まえの・としのぶ)	技術ほか	中小企業診断士
木曜日	川嶋 正己 (かわしま・まさき) 松田 博史 (まつた・ひろし)	マーケティング・創業ほか	中小企業診断士・社会保険労務士

総合相談窓口【相談無料・事前予約制】

毎週月曜～金曜（休日・祭日を除く） [嶺北] 9:00～17:00 / [嶺南] 9:00～12:00
TEL:0776-67-7400 FAX:0776-67-7429 E-mail:soudan-g@fisc.jp

URL: <http://www.fisc.jp/consult/sougo/>

総合相談窓口 ふくい Q 検索

※左記URLから専門家の当番予定日や予約状況が確認できます。まずはお気軽にご連絡ください。



2018年度グッドデザイン賞受賞

検眼フレーム [PD別フロント着脱式検眼フレーム「スマートテスター」]

／株式会社シャルマン

眼鏡を作る過程で使用する検眼フレームを改善しました。視力測定でレンズの度数を決定した後、検眼フレームにテストレンズを入れて見え方の確認を行います。検眼フレームのフレームとテストレンズを入れるPDリングを着脱可能な構造にすることで、掛け心地の良いフレームと正しい瞳孔間距離での見え方を両立させることが可能になりました。また、同じサイズのPDリングを複数持つことで遠近両用レンズ、中近レンズ、近々レンズなどを瞬時に取り換えて見え方を確認することが可能になり、目的やシーンに合った眼鏡の複数所持の提案が容易になりました。チタン製で軽量、デザインもシンプルになり眼鏡店や眼科診療所などで快適な視力測定を行えます。

【DATA】

- 受賞企業 株式会社 シャルマン
- プロデューサー 同社 専務取締役 岩堀一夫
- ディレクター 同社 企画統括部 商品開発部&デザイン室
ジェネラルマネージャー 水野忠佳
同社 企画統括部 国内企画部
ジェネラルマネージャー 白崎丈二
- デザイナー 同社 企画統括部 商品開発部 石川周一郎
- 発売日 2018年7月1日
- 仕様【ベースフレーム】 寸法：141mm x 157mm x 47mm
重量：19g、素材：チタン・樹脂

- 【PDフロント】 寸法：120mm x 18mm x 49mm
重量：16g、素材：チタン・SUS・樹脂

【審査委員の評価】

担当審査委員 | 田子 學 石川 善樹 内田 まほろ
重野 貴 Sertaç Ersayın

眼鏡をつくる過程で行う視力検査には、さまざまな要件（検眼フレームのかけ心地、測定の正しさ、目的の異なる複数のレンズの測定など）が求められる。この古くからある重層的な問題に対して、デザインの力で一気に解決している点が評価された。



株式会社 S'Amuser 隠れ家フレンチがリニューアル！

平成27年、三国町米ヶ脇にオープンしたフレンチレストランS'Amuser（サミュゼ）が今年の4月に三国町北本町に移転リニューアルオープンしました。

オーナー兼シェフを務めるのは三国出身の畑和也氏。独立前は「世界料理オリンピック」をはじめ数々の賞を受賞し、グランディア芳泉の料理長を務めるなどキャリアある料理人です。当時の周りからの勧めや、条件の良い物件の発見を機に、持ち前の決断力で即独立を果たしました。

移転の話が出てきたのは独立して4年目のことでした。移転先は地域のシンボリックな存在で、空き家となっていた「旧大木道具店」。大正時代の趣ある近代建築としても新たな三國湊の観光スポットとして期待される場所です。リニューアルしたお店は、大正モダンの外観をそのまま残し、周りの景観を壊さないようにしています。しかし店内に入ると流行りの「写真映え」する、グレーを基調としたフロアがお出迎え。2階では迎賓館のような雰囲気が楽しめます。カウンターでは、シェフの手元が見えるオープンキッチンが広がり、料理を見て楽しむこともできます。

提供するフランス料理は地元で採れた新鮮な食材を使い、いいものを安く、何回来ても楽しめるようにという想いを込めて作っているそうです。

今後はフレンチレストランとしてだけでなく、レストランウェディングやテイクアウトにも力を入れていきたいと意気込みを語っていただきました。

活用事業：平成30年度創業支援事業（ふるさと産業育成ファンド）

話題の 新スポット巡礼

県内企業が打ち出した気になる新スポットにFACT編集担当が訪問。その空間に込められたコンセプトやこだわり、企業の想いをお届けします。

No.08

ご来店やお問い合わせ
お待ちしております！

S'Amuser
http://samuser.jp/
三国町北本町4丁目5-31
TEL/FAX:0776-97-9237
営業時間
ランチ 11:30-14:30 (13:30L.O.)
ディナー 18:00-24:00 (23:00L.O.)
定休日：火曜日

ご紹介するのはこちらの講座

Illustrator入門

募集中

～これから始める方のための
初歩の初歩～

日時：令和元年9月20日(金)

9:00～17:00

会場：福井県産業情報センター
(坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16)

受講料：7,300円(税抜・テキスト料込)

講師：高柴典子氏

《以前の受講者の声》

- ・とても丁寧にゆっくり進めてくださったので、置いていかれることなく安心できました。
- ・曖昧なまま覚えていたことを確実な知識として吸収できました。
- ・テキストも詳しくまとまっていた良かった。今後の業務に活かせそうです。

—いつも人気のIllustratorやPhotoshopの研修ですが、最近ではどんな方が多く受講されていますか？

会社でIllustratorやPhotoshopを買ったので「きちんと使えるようになりたい」と受講される方が多くなってきました。IllustratorもPhotoshopも以前は高価なソフトでしたが、今は月払いのクラウド制になり、中小企業でも取り入れやすくなったのだと思います。さらに言うと、IllustratorやPhotoshopを使えると就職・転職にも有利になるということで、求職中の方などにも受講いただいていますよ。

—無料の画像制作ソフトは世の中にたくさんありますが、IllustratorやPhotoshopならではの魅力ってどんなところですか？

印刷物から看板、ウェブの世界まで、あらゆる画像がIllustrator・Photoshopを使って作られています。まさに世界で使われている“業界標準”のソフトです。世界中のプロが使うツールゆえ、自分のスキルアップしたときに「こんなことをやりたい」がちゃんとできる懐の深さがIllustrator・Photoshopの魅力だと思いますね。フリーソフトでは自由度も仕上がりがりもやはりそれなりです。可能性を狭めてし

「IT」教えて先生！

～新人IT研修担当者が聞いてみました～

(公財)ふくい産業支援センターでは県内中小・個人事業者の皆さま向けに、IT研修を開催(年間約80回)しています。これから開催される注目の講座について、新人IT研修担当者が講師にお聞きしました。

印刷物、Web用画像作成の定番ソフト 基本からしっかり学びませんか？

教えてくれるのはこの人

高柴典子氏

ユニフォームマークの制作、印刷会社のDTP制作を経て、平成16年より専門学校でデザイン講師を務める。Illustrator、Photoshopを使ったDTP制作のほか、デザインや絵画表現の指導も行う。制作の仕事を手で請負っているため、受講生の方には実践的な内容をお伝えしたい。



まっているようで少し勿体ないですね。

—高柴先生の講義はとても丁寧で分かりやすいと定評です。教えられるとき、気をつけていらっしゃることはありますか？

いつも講義の初めに、受講いただく全員に簡単な自己紹介をしていただいています。どんなお仕事でIllustrator・Photoshopを使われているのか、また、どんなバージョンを使われているのかをお聞きするのですが、それによってお伝えすることや紹介するテクニックをアレンジして話すように心がけています。

それに、受講いただく方のほとんどが初心者の方ですので、いろいろなメニューをやりながらも、基本の部分は繰り返し何度も手を動かしながら理解してもらっています。

Illustrator・Photoshopは出来ることの範囲が本当に多いので、とても1日で全ては伝えきれないのですが、「家や会社に戻ってからも調べながらできる」というレベルにまでなってもらえることを目標に、毎回の講義をさせていただいています。興味のある方、初めて触る方、ぜひ受講をお待ちしていますね。

お申し込み
お問い合わせ先

(公財)ふくい産業支援センター
ふるさと産業育成部 ベンチャー・Eビジネス支援グループ
TEL:0776-67-7411 E-mail:pckouza@fisc.jp
お申込みはホームページ <http://www.fisc.jp/pckouza> から

情報化人材育成事業
IT研修

福井県信用保証協会

女性支援チーム『つぐみ』のご案内

女性の創業者・経営者の方で、資金調達や経営についてお悩みを抱えている方はいませんか？

女性支援チーム『つぐみ』は、女性の創業者・経営者の皆さまの不安が少しでも軽くなるよう、資金調達や経営上の悩みを気軽に相談していただくための窓口です。

当協会の女性職員が、女性ならではの視点や感性を活かし、夢に向かって挑戦する女性の創業者・経営者の皆さまを応援します！

こういった場合に『つぐみ』が対応いたします

- 相談をするなら同性の方が安心して話ができる
- 女性向けの事業なので女性の意見を聞いてみたい
- 自宅で開業するので男性担当者だけで来てもらうには抵抗がある など

対象となる方	主な活動内容
<ul style="list-style-type: none"> ● 女性創業者 ● 女性経営者 ● 女性向けの事業を営む経営者 (男性含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営相談業務 (創業・経営、資金調達に係る相談など) ● 女性の創業者・経営者との相談会や企業訪問 ● 女性向け創業セミナーの開催 など



チーム名の由来

県鳥であるツグミは厳しい冬を乗り越える冬鳥の代表です。困難を忍耐強く乗り越え、夢に向かって挑戦するその姿を女性創業者・経営者に重ね

つながり (繋がり) を大切に
ぐんぐん成長し
みらい (未来) に羽ばたく応援をしたい！
という気持ちを込めて命名しました。



ご相談は随時受け付けておりますので、ちょっとしたお悩みでも気軽に『つぐみ』にご相談ください。

お問い合わせ

福井県信用保証協会 企業支援部 女性支援チーム『つぐみ』

TEL 0776-33-8311 【担当】廣部・高橋

その経営課題、ITで解決しませんか？

経営課題の解決に向けたIT活用相談会

「人手不足への対策」「生産性の向上」「新製品の開発」など中小企業が抱える経営課題を解決するためのツールとしてAIやIoTの活用が注目されていますが、自社のビジネスでどう活用して良いのか判断ができないと困っている経営者は多いのではないのでしょうか。

経営者のためのIT活用相談会は、「ITに関する知識がゼロで何から手を付けて良いのかが分からない」「必要なコストが分からない」「自社のどんな業務に使えるのかわからない」など、最初の第一歩目が踏み出せないでいる経営者の方を対象とした相談会。

ITと経営の専門家が丁寧にヒアリングしたうえで、「御社の経営課題にITを活用するのがベストなのか」といった部分から最適な解決方法をアドバイスします。



8月の開設日 ● 8月6日(火)、8日(木)、21日(水)、28日(水)、29日(木)

※やむを得ず変更することがあります。最新の情報はホームページでご確認ください。

相談会場 ● ふくいA | ビジネスオープンラボ内(坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16 福井県産業情報センター1階)

ご利用方法 ● 利用希望の方は、以下にて事前にご予約ください。

担当者から連絡のうえ、相談日時の調整をさせていただきます。

ご連絡先

(公財)ふくい産業支援センター ふくいA | ビジネスオープンラボ

(坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16 福井県産業情報センター1階)

TEL 0776-67-7404 (担当:近藤) http://www.fisc.jp/it/fukui_ailab/

KUMANDO WEEK 2019

9月10日は Kumandoの日
2019
9/9-15
MON SUN

kumando-week とは?

県内の情報化拠点として、県内企業のIT活用を推進してきた福井県産業情報センターでは、9月10日を「Kumando (くまんど) の日」とし、その週間に合わせてITやビジネスにまつわるセミナーやイベントを、他の機関とも連携しながら多数行います。IT関係者や経営者の方はもちろん、子どもたちが楽しみながら学べる体験イベントも開催。新たなビジネスの息吹を感じ、交流していただける1週間です!

その他関連イベントが 目白押し!

<http://www.fisc.jp/kumandowee/>

お問い合わせ (公財)ふくい産業支援センター 総務部
TEL 0776-67-7414 FAX 0776-67-7419
E-mail kumando-week@fisc.jp



特別講演会 9/10 (Tue)

自社の強みを武器に IoT分野で急成長!

～西陣織工場からIoTウェアラブル企業へ～

講師 ミツフジ株式会社 代表取締役社長 三寺 歩氏

時間 14:00～15:45

会場 マルチホール

共催/福井県 後援/福井県IT産業団体連合会

各イベントの詳細情報や追加イベント情報は、ホームページをご覧ください。(ホームページからのお申込みも可能です)

新聞記事から集めた 県内企業の新商品・新規事業

■ 収集期間：令和元年5月1日～元年6月30日

■ 収集対象：福井新聞、日刊県民福井、日本経済新聞、朝日新聞、毎日新聞、読売新聞

当支援センターが収集している新聞記事の中から、県内企業の新商品・新規事業に関する記事をピックアップしました。

食料品／飲料

倉の中で酒の温度を一定の水準に保つ「コールドチェーン」対応の設備導入を進める。新幹線福井駅開業に向けて「酒造りの雰囲気を感じてもらいながら、商談やイベントを開ける」スペースを確保した。	常山酒造（福井市）
消費税増税による持ち帰りの増加を予測し、レジ袋やプラスチック容器を減らそうと、持ち帰りに適した紙製のバックを開発した。「OKAMOCCHIカフェバック」と名付けた製品は折り畳み式で、使用時に引っ張ると立体的になる。	グリルあまから（福井市）
福井市産の鮮魚をORしようと、市中央卸売市場内の「ふくい鮮魚いちば」に直売店を開いた。同市沖で定置網業を営む強みを生かし、漁港から直送。新鮮な魚を安価で販売している。	ケンスイ（福井市）
福井県産の六条大麦の茎で作った天然素材のストローを販売する。2012年創業時から手作りし、ノベルティとしてプレゼントしていた。使用後は土に返せるので環境保護に繋がる。	福井大麦倶楽部（福井市）

繊維／衣服

アパレル大手のファイブフォックス（東京）が、制作する男性向けシャツや女性向けスカート、ブラウスに同社の織物技術が取り入れ、販売を開始した。	三澤機業場（あわら市）
ニット製品を製造する同社が同業他社の廃業や国内への生産回帰の動きを受けて受注が増え、金沢市に内に新工場を建設した。生産能力が5割に増え、今後は製造ラインの追加も検討する。	AMOT（福井市）

眼鏡

折りたたむと2ミリになる老眼鏡「ペーパーグラス」を製造・販売する同社が、東京都港区の品川プリンスホテルに直営店を開いた。全国では5店舗目になる。	西村プレジジョン（鯖江市）
眼鏡枠企画販売の同社は、医療従事者向けの放射線防護眼鏡「Dr.B-Go」を開発した。医療分野の進出は同社初で、今後も医療分野での進出を挑戦していく。	ポストクラブ（鯖江市）
眼鏡枠製造販売の同社が、鯖江自動車学校跡地を取得し、新工場を建設する。同社は昨年、イタリアの大手眼鏡枠製造販売のルミックスオプティカグループの傘下に入り、OEM拡大へ生産設備強化を図る。	福井めがね工業（鯖江市）
眼鏡小売りの同社が、福井市四ツ井店をリニューアルし、子供眼鏡を専門に扱う「こども眼鏡院」を、北陸三県で初めて開設した。レンズの無償交換サービスを充実、成長に合わせたケアを提供する。	赤松メガネ（福井市）

建設

住宅工務店の同社が、本社隣にカフェをオープンした。オーガニックな手作りケーキを提供するほか、インテリア雑貨や家具を販売。地域住民らのコミュニティー拠点として活用を見込んでいる。	みつぐはうす工房（南越前町）
電気設備工事などを手掛ける同社が、家庭向けの工事提案営業を始めた。タブレットを使ってその場で工事を提案できるシステムなどの営業ツールや、営業のノウハウを導入する。	土牧電機（福井市）

その他の製造業

同社が製造する若狭塗箸が、大手牛丼チェーン吉野家が通販で販売している母の日、父の日向けのギフト商品に採用された。これを機に、敬老の日向けに別の若狭塗箸を販売するとした。	内藤（小浜市）
同社がベトナムに建設していた新工場が完成し、稼働を始めた。住宅建材や家電用部材を生産し、市場拡大が期待される東南アジアの中核拠点とする。需要に応じてさらに生産ラインを増やしていく方針である。	フクビ化学工業（福井市）
幼児用教材、遊具製造販売の同社が、最新の遊具や保育用品などを発表するイベント「こども環境サミット」が開催。遊具の安全管理や遊び場不足などが社会問題化していた2017年に同社が、2年に1度のイベントとしてスタートさせた。	ジャクエツ（敦賀市）
タイヤサービス機器メーカーの同社が、国内最大規模の自動車整備機器の総合展示会「第36回オートサービスショー」に出展した。ホイールからタイヤを脱着するタイヤチェンジャーの最新モデルなどをPRしている。	小野谷機工（越前市）
仏壇金具製造の同社が、位牌や写真、遺骨などを納める竹製厨子「かくや厨子」を開発、商品化した。大きな仏壇の代わりに、身近において故人をしのぶ手元供養に用いる。	小林金具藝舎（福井市）
食品用機械製造の同社が、破れたり壊れたりしやすい菓子材料でも薄いシート状に加工できる装置を開発した。手作り並みの微調整を可能としたことで人手不足が深刻化する食品製造現場の生産性向上につながる。	コバード（坂井市）

商業／サービス

セキュリティソフト開発の同社が、手元のパソコンから別の場所にあるパソコンを操作できる「リモートデスクトップ」用の新ソフトを開発し、販売を始めた。テレワークの導入が大手に比べて遅れている中小企業に採用を働きかける。	ビットブレイン（福井市）
地籍調査業務などを支援する土地情報管理システム「Mercury-LAVIS」を開発、販売する。地籍調査を行う市町村や測量業者の需要を見込む。	福井コンピュータ（坂井市）
福井市中央1丁目の新栄商店の広場「新栄テラス」に面したビルの1階に同社がオープン。カフェスペースを設け、本を売るだけでなく、ワークショップや読書会の開催も計画している。	わおん書店（福井市）

皆様の声を

お聞かせください!!

「〇〇が面白かった、ためになった」、
 「△△をもう少し□□にしたらどうか」、
 「●●のテーマについて紹介して欲しい」、
 「▲▲会社がやっている■ ■について取り上げて欲しい」など、本誌を読んだ感想や、要望など、皆様のご意見をお待ちしております。

首都圏ビジネス支援拠点の利用者募集について

県では、「ふくい南青山291」にある1坪ブースの入居企業を募集しています。首都圏における事業展開や販路開拓等にご活用下さい。

区分	貸しブース
利用料金	月額26,000円
備考	電話・FAX・インターネット、コピーの利用に係る経費は、別途実費負担が必要です。インターネット接続に必要な手続きは、入居者での対応が必要です。 ミーティングスペースとして、面談室が利用できます。



- 利用期間** ●原則1年間（3年間まで更新可能。）
 - 保証料** ●利用料金の3ヶ月分に相当する額（入居時にお支払いいただき、退去時に返還します。）
 - 利用時間** ●原則、平日9時～18時まで（お盆、年末年始を除く）
- ※詳細については、下記までお問合せください。

お申込み・お問い合わせ先

福井県産業労働部 産業政策課 商業・サービス業グループ
 TEL:0776-20-0369 E-mail:sansei@pref.fukui.lg.jp

本誌「F-ACT(ファクト)」を活用して会社をPRしよう!

企業情報メール便

販路開拓のチャンス!
 本誌にチラシを同封できます

本誌では、企業情報メール便（チラシ同封サービス）を毎号実施いたします。配送先は、県内事業所約1,700社です。この機会に、貴社の商品・サービスを幅広く紹介しませんか？



●次回実施号 VOL.38 9月25日発行予定

チラシ提出締切日：9月13日
 チラシ1,700部をご提出
 （持参または配送）願います。

○料金

同封するチラシ・パンフレットのサイズ	料金(税込)
A4判以下のチラシ	6,000円
A4判超～A3判以下のチラシ (二つ折にしてA4判以下のサイズにすること)	9,000円
A4判以下のパンフレット (10ページ程度まで)	12,000円

※チラシ・パンフレット1種類当たり1回分の同封料金です。

ご利用を検討の方は、事前に、電話または電子メールにてご連絡ください。
 1号につき約10社まで受け付けます。

なお、申込状況および掲載内容によりお断りする場合があります。

お問い合わせ先 (公財)ふくい産業支援センター 総務部 F-ACT担当
 TEL:0776-67-7414 e-mail:kouhou-g@fisc.jp

編集後記

担当が変わって2冊目の発刊です。1冊目を発刊し、読者の皆様から「読みましたよ!」という声を頂けるようになり、とてもやりがいを感じております。より多くの人に見ていただくために新たな試みで、Facebookに取材の様子載せてみました!本誌にはない違った風景が楽しめると思いますので、「fisc fast」で検索して、ぜひご覧ください。

さて、今回の特集は「働き方改革」のテーマで組ませていただきました。私が実際に取材をしてみて、1つある共通点が見つかりました。それは忙しいところ合間をぬって、働き方改革に対する対応を考える時間を作っているということです。働いていらっしゃる方は大変忙しいと思います。ですが、1時間でも30分でも時間を設けてみてはいかがでしょうか。きっと今より効率的に働ける環境を作ることはできると、取材をしてみて私はそう感じました。

本誌に関するお問い合わせは

fisc 公益財団法人 ふくい産業支援センター <http://www.fisc.jp/>
 総務部 TEL 0776-67-7414/FAX 0776-67-7419/E-mail: kouhou-g@fisc.jp
 〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂第3号7番地1-16 (福井県産業情報センタービル内)

あなたの暮らしに “つかえる”アプリ

地域の
お店のクーポン
配信！
管理サービス！
お金の
かんたん

役
に
地域情報
を
残高
確認！



福邦銀行に
口座が
なくてもOK!!

クーポンも
すぐに使える!!

福邦銀行公式アプリ

FUKUHO パーク ふくほう Park

クーポンやキャンペーンなど、おトクな情報をプッシュ通知でお届け!

今すぐダウンロード!

ふくほうパーク

検索



Download on the App Store



Android、Google playおよびGoogle playロゴは、Google LLC.の商標です。Apple、Appleロゴ、およびiPhoneは米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
※「残高・明細照会」は、普通預金のキャッシュカードをお持ちの個人の方がご利用いただけます。
※推奨機種はOS9.0以上（iPhone5sおよびiPhone6以降の端末）およびAndroid5.0以上となります。docomo、au、softbankから発売された端末が対象となり、タブレットは推奨環境ではありません。お使いのOS・機種が対応可能かは当行ホームページにてご確認ください。
※本アプリは無料でご利用いただけますが、アプリのダウンロードやご利用にかかる通信料はお客様のご負担となります。詳しくは、福邦銀行のホームページをご確認ください。